

雑木林ファンクラブ通信

住所:〒 247-0013 横浜市栄区上郷町 1562-1 「横浜自然観察の森」 Tel:045-894-7474

水源環境保全・再生について考える

おいしい水を飲みたいのは、僕だけでないよね。だれだって毎日飲むものだけに、より安全でよりおいしいことに越したことはないと思います。

今日、環境問題が深刻化する中で、大気、水のことを考えると森林の持つ役割はますます重要になって来ています。

森林の物質資源生産は、鉱物資源と違って、同じ場所での繰り返し収穫が可能です。木材資源は、その生産過程において環境を汚染しないばかりか、環境の保全に大いに貢献します。その生産には、長時間人の手が必要とするが、それだけ環境保全にも貢献します、石油エネルギーおよび外材の輸入により国内林業が激減したため、河川上流域の山間部は、手入れ不足の人工林が増加し、荒廃が進み、地形が急峻で降った雨水がたちまち濁流になり、土砂流入により、ダムにおいては堆砂対策が必要になります、また下流の浄水場においても凝集剤（硫酸アルミニウムやポリ塩化アルミニウム）を注入して汚染物質を凝集・沈殿させたあとに、高速で砂ろ過を行う必要になり余計な負荷がかかる現状です。

これらを健全な水源かん養機能を作る必要があります、季節的に偏って気ままに降る雨を土壤に蓄え、長い時間をかけて少しずつ、ほぼ一定に近い状態で流出させる機能づくりを行うことが望まれます。かわさき市民まつり（水源の森林づくり街頭キャンペーン）に参加しまして、まずは水源林の機能に関心を持っていただき、ぜひ今後は森林ボランティアに参加してもらいたいとPR活動を行ったが、森林整備作業だけでは、参加希望者は少なくもう少し魅力がある企画が必要だと思います。

水源の保全には、市民参加の森林整備が必要と思う、それには適度な間伐を行い、林床に木漏れ日が当たり草や低木が生え、腐葉土のじゅうたんを敷き詰めた明るい森を目指す、四季折々の特徴を持った樹木を植樹する、たとえば山桜、三桧、もみじ等植樹し、山桜の花見をしながら間伐作業、紅葉のもみじを見ながら枝打ち作業、落ち葉のプール遊びをしながら間伐作業等いろいろな条件をつけて森林整備作業に引き込む工夫が必要だと思います。

将来には、森林治療の場か保養地になる条件までに森林整備を行うと、健全な水源かん養林になり「市民憩いの森」としても利用が可能ではないか。

森林整備することにより地球温暖化の原因の一つといわれる二酸化炭素の吸収に大きな役割を果たし、樹木は、光合成によって二酸化炭素を取り込み、代わりに酸素を供給しています。

水源林を保護・育成するには、長期的な管理計画を立案して継続的に終着駅のない管理が必要であります。

(杉戸 正直)



1. 4～5月の活動報告

- ① 4月24日(金) 9人 スプリングフェア(SF)用機材積み込み
- ② 4月25日(土) 31人 横浜公園 SF当日(荒天:雨):来客疎ら(14時閉店)
- ③ 4月26日(日) 27人 横浜公園 SF当日(晴天・強風)
- ④ 5月2日(土) 24人 SF後片付け、炭出し(未炭)、竹林整備、炭小屋整理
- ⑤ 5月9日(土) 21人 クヌギ林植生確認、竹林整備
- ⑥ 5月16日(土) 22人 竹林整備、トウネズ伐採(2チーム)、運営会
他に、各水曜日に準活動日として木工作业を実施

2. 5月度運営会の報告 (5月16日午後)

- ① 6月の作業打ち合わせ:3項を参照
- ② 栄区キャンドルナイト(7月下旬)参加要請し、準備を進める
- ③ 作業中の健康・安全管理ならびに緊急時の連絡体制
市内他ボランティアグループで活動中に会員が死亡(病気)する事例が発生。防止措置の検討
 - ・ 活動前の準備運動(朝礼前のラジオ体操に間に合うように参加に努める)
 - ・ 活動中の休憩(グループ活動中のリーダーは30分毎の休憩を取る)
 - ・ 水分補給用水筒・ペットボトルの持参に努める
 - ・ 事故等の緊急時には、速やかに以下に連絡を取ること(携帯をお持ちの方は登録を)
自然観察センター:045-894-7474
関根:090-9230-0000
武田:090-3594-1883
- ④ ベンチ作成担当者について
観察の森内に設置するベンチ製作(丸太半割型と移動式2種)のリーダーを決めておき、効率よく作成する(森内で20ヶ所弱)。
片岡・村松・鈴木さん。他にも積極的に手を挙げていただきたい(他薦も可)
- ⑤ スプリングフェアの振り返り:5項を参照

3. 6月度活動予定

- ① 5月23日(土) 日清オイリオ受け入れ(桜林下草刈り+刃物研ぎ)、クヌギ林下草刈り
- ② 5月30日(土) 製材、ベンチ製作、実生採り(クヌギ・コナラ・サクラ)
- ③ 6月6日(土) トウネズ伐採、ホダ木本伏せ、勉強会(クヌギ林の希少生物。講師:野草PJ)
- ④ 6月13日(土) トウネズ伐採、クヌギ林下草刈り
- ⑤ 6月20日(土) 駐車場草刈り、本窯煙突清掃、前回炭焼き未炭の再窯詰め(ドラム缶)、運営会
- ⑥ 6月21日(日) 材皮むき、未炭の再焼き、森のボランティア体験会対応
- ⑦ 6月27日(土) トウネズ伐採、製材、ベンチ製作
他に、毎水曜日を準活動日とする

4. その他

- ① 「友の会 腕章」が足りません!ご自宅にないか確認ください。
- ② 雑木林ファンクラブ通信が、インターネットでも見られるようになりました。
<http://zfc.yamagomori.com/index.html>
紙資源節約と郵送費削減のため、ネット環境でご覧いただける方は積極的にご利用ください。
ネット環境のみでOKという方は、恐縮ですが下記の関根までメールをお送りください。
kazusan100※mx4.ttcn.ne.jp ※を @ に替えてメールしてください。
ただし、ゴロ報については、当面現物をお渡します。
- ③ 通信の巻頭言を募集
我こそはという方積極的にお申し出ください。
ZFC活動に関わる思いや動植物・自然・里山・農業など何でも思いつくままで結構です。
デジタルデータを歓迎しますが、手書きでOKです。

5. スプリングフェア振り返り

- ① 25日(土) 31名参加:雨天(寒い)。来客疎ら。14時にて閉店。15時より反省会(20名+参加)
- ② 26日(日) 27名参加:晴れ(強風)。来客そこそこ。
- ③ 良かったこと
 - 半製品を完成させるものは人気があった(ポックリ・紙鉄砲)
 - 事前準備のまとめ役が上手く機能していた(丸太切り等体験型)
 - プランタ・靴べらは人気(靴べらはモノ不足)
 - 参加型は喜ばれる(例年来る親子も)
- ④ 反省点ほか
 - 搬入車は、1日目はすぐに炭小屋に戻した方が良さそう(荷物を全部下せた場合)
 - 材の確保を早めにした(15 mm程度の厚板。巣箱用)
 - 紙鉄砲の弾がゴミになったり人に当たることもあったので、的を設ける必要
 - 値段が高いものより安いものの方が売れる
 - まな板が欲しいという方がいた
 - 毎年来るリピーターも多いので、飽きられない工夫も必要(消耗品なら売れる)



この雨じゃしょうがないかなあ…



翌日は打って変わって晴天。でも風が！



パイスケ展示。人が…。そこで…

パイスケ：こちらもご覧下さい

<http://homepage1.nifty.com/ishiguro/shikiori/otayori.htm>



谷川さん、流石？腰が入ってます
お手伝い、どうもありがとう

以上